



暮らし

行政放送(町内放送)の運用変更について

日頃より行政情報の発信にご理解をいただきありがとうございます。
この度、情報収集手段の多様化に伴い、行政放送の運用を以下の通り見直すことといたしました。

1. 緊急情報について

地震・気象警報・避難情報などの緊急情報は、これまで通り時間に関わらず速やかに放送いたします。

2. イベント等の開催案内

放送での案内を終了し、今後は下記の方法で情報を発信します。イベント等の詳細情報もご確認ください。

- ・町広報誌「広報カレンダー」
- ・町公式ホームページ
- ・日高川町防災・行政情報アプリ

お問合せ 総務課 ☎0738-22-1700

日高川町防災・行政情報アプリのインストールはこちらから▶



3. 定時放送の時間帯変更

定時チャイム・放送回数を以下の通り変更いたします。

【変更後】 11:00～12:00
18:00～19:00 (計2回)
※7:00～8:00の放送および、7:00の定時チャイムは廃止します。

ご理解とご協力をお願い申し上げます。



暮らし

ハザードマップの訂正とお詫び

平素より本町の防災行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

令和8年5月に配布しました「洪水・土砂災害ハザードマップ」に掲載されている避難所一覧の記載内容に誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに、右記の通り訂正させていただきます。

お問合せ 総務課 ☎0738-22-1700

【訂正内容】

ハザードマップ内、P11「避難所一覧」における拠点避難所の記載

誤：日高川町保健センター

正：日高川町防災センター

皆様にはご迷惑をおかけしましたことを重ねてお詫び申し上げます。なお、最新の避難所情報は、町ホームページでもご確認ください。

P11



暮らし

ふるさと納税 返礼品提供事業者募集!

日高川町では、ふるさと納税の返礼品を提供していただける事業者を募集しています。
ふるさと納税は、全国の寄附者へ日高川町の魅力を届けるとともに、事業者の皆様の商品やサービスを広くPRできる制度です。新たな販路の開拓や認知度の向上にもつながります。

●返礼品の一例

- ・町内で生産している農産物(みかん・梅・野菜など)
- ・町内で製造している加工食品、飲料、お菓子
- ・町内で製造している紀州備長炭、木工芸品
- ・町内で提供できる宿泊・体験・食事券 など

※返礼品として登録するには、総務省が定める地場産品基準などの要件を満たす必要があります。

お問合せ 企画政策課 ☎0738-22-2041

●返礼品登録のメリット

- ① 全国の寄附者へ商品・サービスをPRできます。
 - ② 掲載料や手数料などの事業者負担はありません。
 - ③ 返礼品の送料は町が負担します。
- ※②③については、一部例外があります。

「返礼品になるかわからない」、「登録方法が難しそう」など、少しでも気になる方はお気軽にお問い合わせください。



人権擁護委員が法務大臣から委嘱されました



湯川 美奈さん

人権擁護委員として活躍されてきた湯川 美奈さんが、令和8年6月30日をもって退任されました。長きにわた

り、大変ご苦勞様でした。後任には、湯川美奈さん(三百瀬)が令和8年7月1日付で法務大臣から委嘱され、今後、人権啓発活動や住民の皆様からの人権相談に応じてくださいます。

農家女性講演会&情報交換会

町内農家女性の皆様に講演会&情報交換会を開催します。(家庭菜園の方も大歓迎!)

講演会では、「紫外線対策とメイク講座」をテーマに実施します。また、ティータイムや苅玉づくりを通して皆様に農業について話してみませんか?

○日時 令和8年8月31日(月)

13時～16時(予定)

○場所 農村環境改善センター2階大会議室

(日高川町小郷2416)

○内容 講演会

「紫外線対策とメイク講座」情報交換会「ティータイム」苅玉づくり体験



○主催 日高川町農業振興協議会女性部会

(左記までお電話にてお申し込みください。)

○申込締切 令和8年8月17日(月) 17時

○参加費 500円

○定員 20名(先着順)

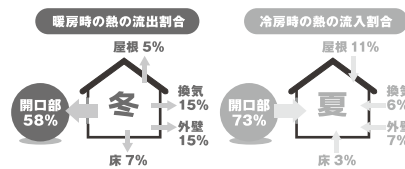
お問合せ

農業振興課 ☎0738-22-2048

何ができるかな?それをするとなんが良いの?

窓やドアを断熱性の高いものに

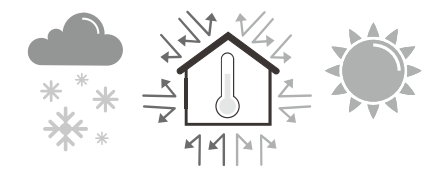
外気の影響が一番受ける家の開口部(窓やドア)から対策!



入浴事故リスクの低減
結露の防止でカビやダニの発生を防ぐ

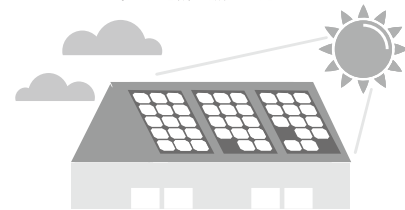
壁、屋根 床の断熱・気密性をUP

冷暖房費や快適さが格段に変わる!



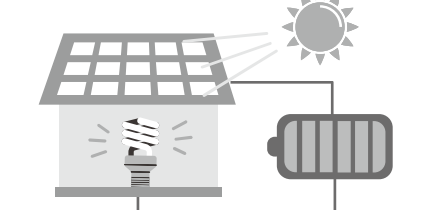
太陽光発電でエコな電気をつくる

エコはもちろん、余った電気は販売も可能



蓄電池で電気を貯める

発電した電気をもれなく活用!



ゼロカーボシティ
ひだかがわ

～できることから始めよう～

2021年11月ゼロカーボシティ宣言
2050年二酸化炭素実質排出ゼロを目指します

お問合せ
企画政策課
☎0738-22-2041